

帯広市新総合体育館へのネーミングライツ導入について

1 ネーミングライツ導入の目的

帯広市では、昭和47年に建設され、市民のスポーツ活動を支えてきた「帯広市総合体育館」の改築を現在進めており、新しい総合体育館は、令和2年2月29日の供用開始を予定しています。

新しい総合体育館ではネーミングライツを導入し、協賛企業と連携・協力することにより、施設の維持保全のための財源を確保し、スポーツの普及振興に努め、市民サービスの向上を目指します。

2 ネーミングライツの概要

公共施設などに条例上の正式名称とは別に、企業（団体）名や商品名などを愛称として命名できる権利をいいます。

施設設置者は、その対価として当該企業等からネーミングライツ料が得られ、施設の安定的な運営のための財源確保に資することができます。

また、当該企業等は、愛称による宣伝効果や社会貢献など、企業イメージの向上が期待できます。

3 北海道内の体育館におけるネーミングライツ導入事例

施設名	北海道立総合体育館	旭川大雪アリーナ	旭川市総合体育館	札幌市中央体育館
愛称	北海きたえーる	道北アークス 大雪アリーナ	旭川市リアルター 夢りんご体育館	北ガスアリーナ 札幌46
導入年度	平成22年度	平成30年度	平成31年度	平成31年度
ネーミングライツ料	400万円/年(税抜)	300万円/年(税抜)	250万円/年(税抜)	1,000万円/年(税抜)
契約期間	3年	5年	5年	15年

4 本市のネーミングライツ導入実績

施設名	帯広の森屋内スピードスケート場		帯広市ポロシリ自然公園キャンプ場
愛称	明治北海道十勝オーバル		スノーピーク十勝ポロシリ キャンプフィールド
略称	明治オーバル		なし
導入年度	平成21年度		平成29年度
ネーミングライツ料	1,000万円/年(税込)		契約期間中、物品・役務の提供として 210万円相当以上(税込)
契約期間	5年		3年
募集条件	愛称条件	施設の設置目的にふさわしいものとし、「帯広」又は「十勝」を加える	
	選定方法	募集要項を策定し、公募にて実施	

5 募集・審査方法

(1) 募集方法

公募

(2) 審査方法

① 審査委員会設置（審査委員：庁内関係部 3名、市スポーツ関係団体 3名）

応募企業の提案を総合的に判断し、審査

② 審査項目

ネーミングライツ料、契約期間、愛称名、応募企業、地域貢献

6 募集条件

(1) 愛称に関する条件

① 施設の設置目的にふさわしいもの

② 「帯広」又は「十勝」を加える

(2) ネーミングライツ料

希望ネーミングライツ料 500万円/年(税抜)以上

(3) 契約期間

希望契約期間 5年以上

7 今後のスケジュール

(1) 令和元年6月初旬～7月初旬	ネーミングライツ 公募期間
(2) 7月中旬	ネーミングライツ 優先交渉権者選定
(3) 7月下旬～12月下旬	ネーミングライツ 契約締結/館名看板等設置
(4) 12月28日	(現) 総合体育館の供用終了
(5) 12月31日	(新) 総合体育館建物本体の引渡し
(6) 令和2年1月1日～2月28日	開業準備期間
(7) 2月29日(土)	開館記念イベント/供用開始
(8) 令和2年1月1日～ 令和3年8月31日	(現) 総合体育館の解体/外構整備
(9) 令和3年9月1日(水)	全面供用開始